

使用上の注意

下地の確認

- a.コンクリート下地に、表面水および湧水、漏水がないことを確認してください。
- b.下地の清掃を入念に行い、接着の妨げとなる塵埃・油脂類・汚れ・さびなどがないことを確認してください。

作業環境

- a.降雨・降雪が予想される場合、または降雨・降雪後で下地が過度に湿っている場合は施工を控えてください。
- b.気温が著しく低い、または高い場合は施工を控えてください。
- c.強風、または高湿の時は、施工・養生に留意してください。

材料の保管および取り扱い

- a.直射日光にさらされない場所に密閉状態で保管し、凍結させないように注意してください。
- b.施工中、乾燥中ともに換気をよくしてください。
- c.目に入った場合には、多量の水で洗い、出来るだけはやく医師の診察を受けてください。
- d.飲み込んだ場合は、清浄な水で口の中をよく洗浄し、医師の診察を受けてください。
- e.容器からこぼれた場合には、速やかに処理してください。

※詳細な内容が必要な場合は、安全データシート(SDS)をご参照ください。

ポリマーセメント系塗膜防水材

FINE TEC

FINE TEC

株式会社ファインテック

530-0054 大阪市北区山崎町3-12-1
TEL:06-6210-2447 FAX:06-6210-2448
<https://fine-tec.jp>

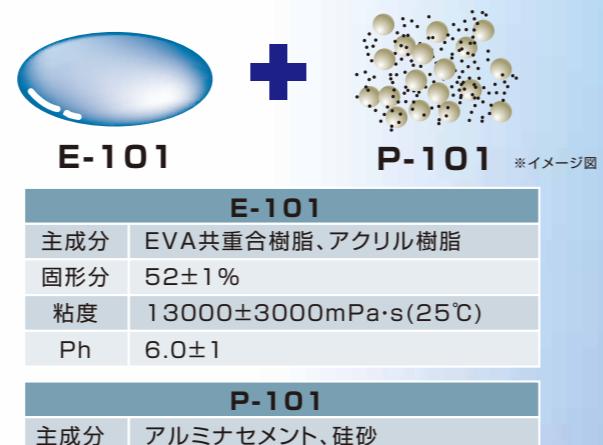
FINE TEC
株式会社ファインテック



FTコートとは

エチレン・酢酸ビニル系エマルション樹脂を主成分とする『FTコートE-101』とアルミナセメントを主成分とする『FTコートP-101』を混合塗布することによって、強靭な弹性塗膜を形成するポリマーセメント系塗膜防水材です。

FTコートは水性であり、作業性・安全性に優れた、シームレスな防水層をつくることができます。

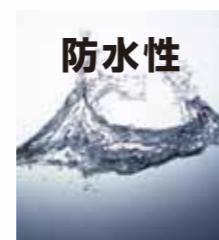


特長



1. 安全性

高分子エマルションを主成分としているので、有機溶剤系防水材とは異なり、臭気、毒性のない環境重視型の防水材です。また、火気による引火や、有毒ガスの発生が無く安全に施工できます。



2. 防水性

防水層は柔軟性に富み、コンクリート下地に生じるひび割れに対する追従性に優れている。また、シームレスな塗膜を形成するため、継ぎ目が無く防水の信頼性が高い。



3. 施工性

複雑な部位、厄物にも対応でき、また下地が含湿状態でも施工が可能です。



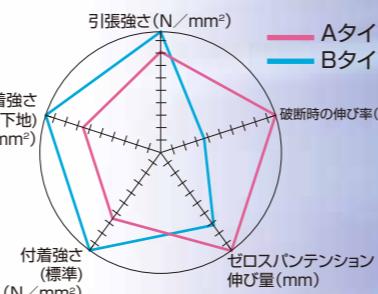
4. 耐久性

耐アルカリ性等に優れた塗膜で長期間、防水性能を維持します。

塗膜物性

項目	Aタイプ塗膜	Bタイプ塗膜
引張強さ(N/mm ²)	0.9	1.1
破断時の伸び率(%)	430	160
ゼロスパンテンション伸び量(mm)	5.3	3.8
付着強さ(N/mm ²)	標準 湿潤下地	1.2 1.8
	1.8	1.8

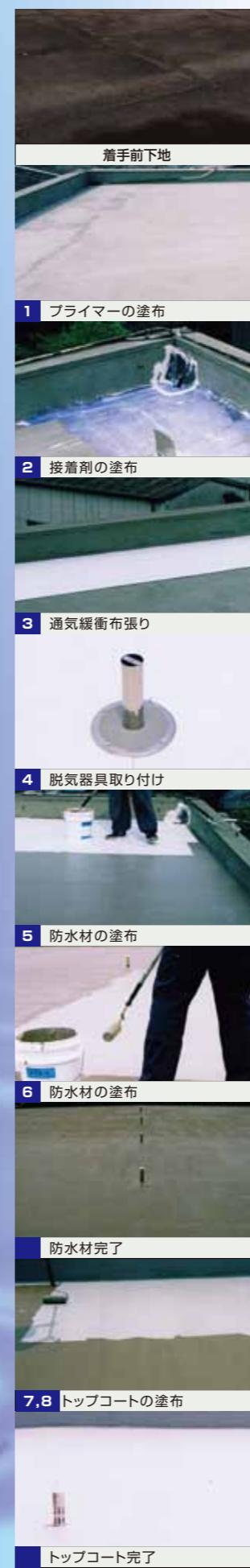
※FT ブライマー



塩ビ系長尺シートの付着性

工種	接着剤		端部シール剤		
	ウレタン系	エポキシ系	ウレタン系	エポキシ系	変性シリコン系
A-2塗膜	89	100以上	100以上	79	20
A-3塗膜	82	100以上	100以上	100以上	55

※接着強度 (N/50mm巾)

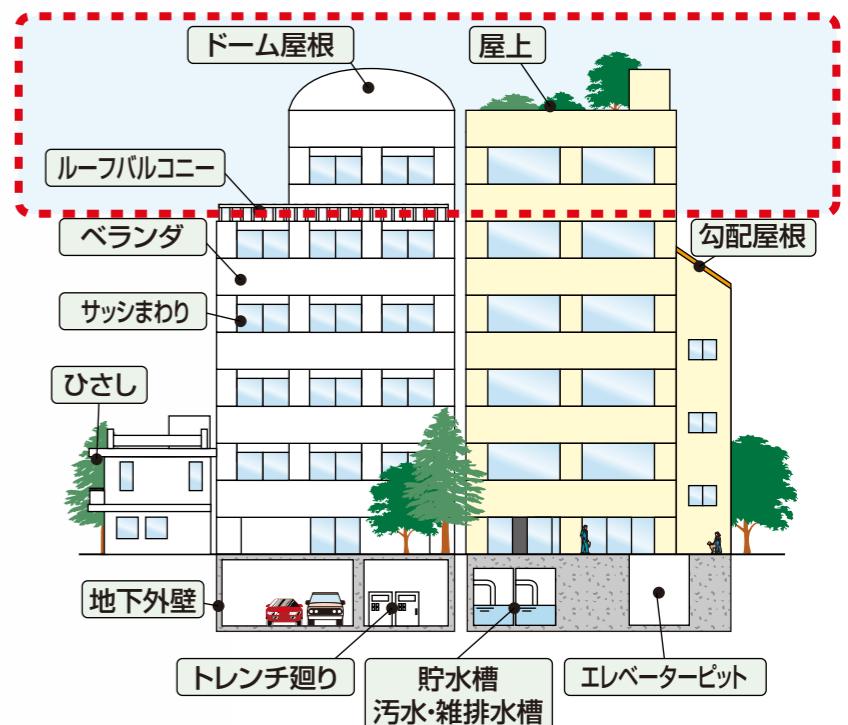


D工法 通気緩衝工法とは

下地含水率が高い改修工事においてFTコートと通気緩衝シートと組み合わせることにより、下地の水分が脱気層内に分散し、脱気筒を通って外部に排出されるため防水層の膨れを防止します。



工程	使用材料	使用量	施工方法
1 ブライマーの塗布	FTブライマー	0.15Kg/m ²	ブライマー液をローラー、刷毛で塗布
2 接着剤の塗布	FTボンド	0.2Kg/m ²	FTボンドをローラー刷毛で下地に塗布
3 通気緩衝布張り	FTシートD FT Jテープ		FTシートDをしわの入らないように貼付ける シート突合せ部にFT Jテープを貼る
4 脱気器具取り付け	FT脱気筒		脱気筒を取り付ける(1個/50~100m ²)
5 防水材の塗布	FTコートAタイプ	1.5Kg/m ²	FTコートAタイプをローラー、刷毛で塗布
6 防水材の塗布	FTコートAタイプ	0.7Kg/m ²	FTコートAタイプをローラー、刷毛で塗布
7 トップコートの塗布	FTトップ U	0.2Kg/m ²	FTトップ Uをローラー、刷毛で塗布
8 トップコートの塗布	FTトップ U	0.2Kg/m ²	FTトップ Uをローラー、刷毛で塗布



標準防水工法

A 工法 とは

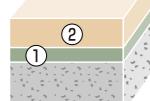
樹脂リッチな配合で柔軟性に優れ、ベランダ、ひさし等の防水に適用します。
また、サッシまわり等の線防水に威力を発揮します。

A-1 工法



(保護モルタル仕上げは別途)

膜厚
0.8mm

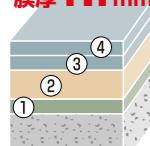


A-2 工法



(歩行用防滑仕上げ)

膜厚
1.1mm

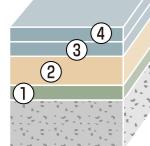


A-3 工法



(軽歩行用艶あり仕上げ)

膜厚
1.0mm

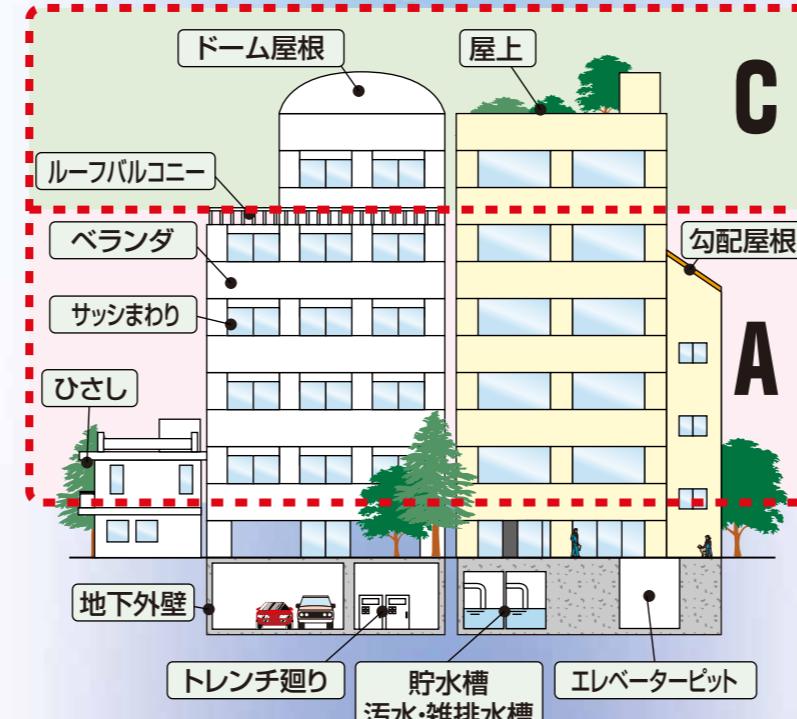
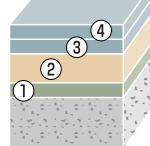


A-4 工法



(歩行用艶あり仕上げ)

膜厚
1.1mm



ポリマーセメント系塗膜防水工事施工指針(案)

PA-1仕様

平均厚み 0.8mm 使用量 1.5kg/m²

工程	使用材料	使用量	施工方法
1 ブライマーの塗布	FTプライマー	0.15Kg/m ²	プライマー液をローラー、刷毛で塗布
2 防水材の塗布	FTコートAタイプ	1.5Kg/m ²	FTコートAタイプをローラー、刷毛で塗布
3 トップコートの塗布	FTトップ NS	0.5Kg/m ²	FTトップ NSをローラー、刷毛で塗布

PA-2仕様

平均厚み 1.1mm 使用量 2.1kg/m²

工程	使用材料	使用量	施工方法
1 ブライマーの塗布	FTプライマー	0.15Kg/m ²	ローラー、刷毛で塗布
2 補強布張り	FTメッシュ又はクロス	1.0m	FTメッシュ又はクロスをわの入らないよう広げ、FTコートAタイプをローラー、刷毛で張り付ける
3 防水材の塗布	FTコートAタイプ	1.2Kg/m ²	FTコートAタイプをローラー、刷毛で張り付ける

PA-3仕様

平均厚み 1.6mm 使用量 3.0kg/m² JASS 8 C-PF仕様

工程	使用材料	使用量	施工方法
1 ブライマーの塗布	FTプライマー	0.15Kg/m ²	ローラー、刷毛で塗布
2 補強布張り	FTメッシュ又はFTクロス	1.0m	FTメッシュ又はクロスをわの入らないよう広げ、FTコートAタイプをローラー、刷毛で張り付ける
3 防水材の塗布①	FTコートAタイプ	1.2Kg/m ²	FTコートAタイプをローラー、刷毛で張り付ける
4 防水材の塗布②	FTコートAタイプ	0.9Kg/m ²	ローラー、刷毛で塗布

C 工法 とは

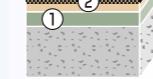
A工法に補強布を挿入することにより塗膜強度、膜厚を確保し、屋上、ルーフバルコニー等の防水に適用します。

C-1 工法



(保護モルタル仕上げは別途)

膜厚
1.1mm

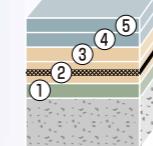


C-2 工法



(歩行用防滑仕上げ)

膜厚
1.4mm

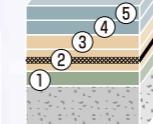


C-3 工法



(軽歩行用艶あり仕上げ)

膜厚
1.3mm

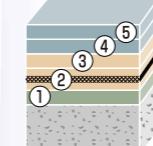


C-4 工法



(歩行用艶あり仕上げ)

膜厚
1.4mm



標準防水工法

B工法とは

セメントリッチな配合で高強度かつ硬化が早く、水槽、地下内外壁等の防水に適用します。

B-1工法



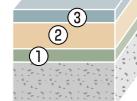
膜厚1.3mm



B-2工法



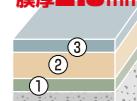
膜厚2.0mm



B-2-E工法



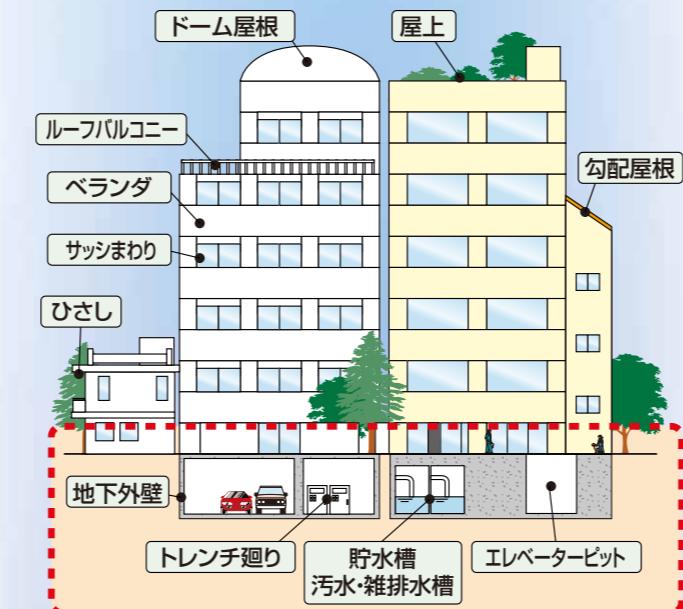
膜厚2.0mm



B-3工法



膜厚1.6mm



ポリマーセメント系塗膜防水工事施工指針(案)

PB-1仕様 平均厚み 1.3mm 使用量2.5kg/m² JASS 8 C-PU仕様

工程	使用材料	使用量	施工方法
1 ブライマーの塗布	FTブライマー	0.15Kg/m ²	ブライマー液をローラー、刷毛で塗布
2 防水材の塗布	FTコートBタイプ	2.5Kg/m ²	FTコートBタイプを金鏡で塗布
3 トップコートの塗布	FTトップ PC	1.5Kg/m ²	FTトップ PCを金鏡で塗布

B-4-C工法



用途 腐食が著しく発生する汚水槽 雜排水槽

(エポキシライニング仕上げ)

膜厚2.0mm



工程	使用材料	使用量	施工方法
1 ブライマーの塗布	FTブライマー	0.15Kg/m ²	ブライマー液をローラー、刷毛で塗布
2 防水材の塗布	FTコートBタイプ	2.5Kg/m ²	FTコートBタイプを金鏡で塗布
3 ブライマー塗布	FT Qブライマー	0.1Kg/m ²	FT Qブライマーをローラー、刷毛で塗布
4 ライニング材塗布	FTレジンE-200	0.8Kg/m ²	FTレジンE-200をコテで塗布
5 ライニング材塗布	FTレジンE-300	0.4Kg/m ²	FTレジンE-300をコテ、刷毛等で塗布

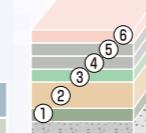
B-4-D工法



用途 腐食が著しく発生する汚水槽 雜排水槽

(エポキシライニング仕上げ)

膜厚2.4mm



工程	使用材料	使用量	施工方法
1 ブライマーの塗布	FTブライマー	0.15Kg/m ²	ブライマー液をローラー、刷毛で塗布
2 防水材の塗布①	FTコートBタイプ	1.5Kg/m ²	金鏡で塗布
3 防水材の塗布②	FTコートBタイプ	1.0Kg/m ²	金鏡で塗布
4 ブライマー塗布	FT Qブライマー	0.1Kg/m ²	FT Qブライマーをローラー、刷毛で塗布
5 ライニング材塗布	FTレジンE-200	0.8Kg/m ²	FTレジンE-200をコテで塗布
6 ライニング材塗布	FTレジンE-300	0.4Kg/m ²	FTレジンE-300をコテ、刷毛等で塗布

防水材

製品一覧



「ファインテック」では、従来2缶必要だった仕様を1缶にまとめる構造パッケージングを実現。又皆様方の環境保全と経費節減のため、使用後の容器は、「プラスチックペール缶リサイクルシステム」で回収リサイクルをしています。



プライマー FTプライマー

◆用途、内容
A,B,C工法用
コクリート、刮削下地
◆入り目
18kg



FTコート (Aタイプ)

◆用途、内容
A,C工法用
◆入り目
E-101 12kg
P-101 8kg



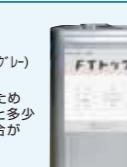
FTコート (Bタイプ)

◆用途、内容
B工法用
◆入り目
E-101 8kg
P-101 12kg



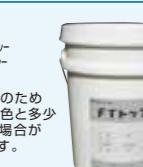
FTトップ (NS)

◆用途、内容
A,C工法用
ノックリップ仕上げ3色
◆入り目
18kg



FTトップ (U)

◆用途、内容
A,C工法用
艶あり仕上げ3色
◆入り目
16kg



FTトップ (PC)

◆用途、内容
B工法用
樹脂モルタル
◆入り目
粉体 20kg
混練り液 1kg

防食材

補修材その他

製品名	荷姿	主成分	用途
FTトップ E	主材 硬化剤	15kg/袋 5kg/箱	エポキシ樹脂モルタル B-2-E工法用 耐食性樹脂モルタル
FT Qプライマー	主剤 硬化剤	4kg/缶 4kg/缶	水性エポキシ樹脂 B-4工法用 プライマー
FTレジン E-200	主剤 硬化剤	12kg/缶 3kg/缶	無溶剤型エポキシ樹脂 B-4工法用 防食被覆材
FTレジン E-300	主剤 硬化剤	12kg/缶 3kg/缶	無溶剤型エポキシ樹脂 B-4工法用 防食被覆材
FTメッシュ		100m巻き	ガラスクロス+ポリエチレン C工法用
FTクロス		100m巻き	ポリエチレン C工法用
FTシート		50m巻き	ポリエチレン D工法用
FTボンド		18kg/缶	アクリル系樹脂 D工法用
FTテープJ		50m×2	ガラスクロス+ポリエチレン D工法用